

ピーマン PMMoV 抵抗性品種「京ひかり」の特性と適応作型

【1 成果の内容】

PMMoV抵抗性(L^3)品種の「京ひかり」は、草丈が伸びやすく草勢が強めで、夏秋雨よけハウス栽培・露地トンネル栽培ともに適しています。形の良い果実の割合が多いことが特徴です。

【2 解決できること】

本県のピーマン栽培圃場では、**土壌伝染するPMMoV(ペーパーマイルドモットルウイルス)**が発生し、問題となっています。「京ひかり」はこのPMMoVの病原型 $P_{1,2}$ に対する抵抗性の L^3 遺伝子を有しているため、汚染圃場で栽培しても感染せず、生育が安定します。



PMMoVのモザイク症状

【3 上手に使うには】

PMMoV抵抗性(L^3)品種には、「京ひかり」のほかにも、「京鈴」「さらら」「みおぎ」などがあり、適する作型は下表のとおりです。

< L^3 品種の適する作型と特徴 >

(収量 ハウス夏秋:H14~16、露地トンネル:H16~17の平均)

品種		適作型と収量(aあたり)		生育(草勢) の強さ	果実 (果色・外観)
		ハウス夏秋栽培	露地トンネル栽培		
現在の 品種	京ゆたか	826kg			ほぼ同じ・ 同一出荷可能
	京ゆたか7		524kg		
L^3 品種	京ひかり	833kg	567kg		
	京鈴	794kg	492kg		
	みおぎ		619kg		

PMMoV抵抗性(L^3)品種を導入した県内栽培圃場で、すでにこれらを侵す新しい病原型が発生しています。今後の発生と蔓延を防ぐには、圃場をよく観察し感染株の早期発見・早期抜き取りに努めることが重要です。また、「京ゆたか」「京ゆたか7」と「京ひかり」などの L^3 品種は、同じ圃場内で栽培しないで下さい。

< 「京ひかり」を栽培するときはここに注意 >

節間が長めで草丈が伸びやすいので、特にハウス栽培では徒長しないよう注意しましょう。生育後半は、枝が混みやすく、色白果が発生しやすいので整枝・誘引を適期に行いましょう。果皮が薄めで、尻腐果が発生しやすいのでかん水不足に注意してください。

【4 活用できる場面】

PMMoVの汚染により、生育が劣ったり、収量が減っている圃場での利用がおすすめです。「京ひかり」などの L^3 品種は、汚染圃場でも生育が安定し、収量低下を解消できます。

コスト面での効果

生育が安定 収量が向上 出荷量の増加
果実の形が良い 単価の高いA品が多い